

第73回 滋賀県花道展覧会



121瓶の生け花で会場華やぐ 観賞者が秋の風情を満喫

会場には池坊や遠州流など守山をはじめ、県内で生け花をたしなむ19流派121瓶の生け花が華やかに展示されました。訪れた市民は、秋色の作品の間を歩きながら、お気に入りの前で足を止め、花瓶や花の風情をゆっくりと観賞していました。玄関ロビーでは「守山市こども生け花教室」で学ぶ児童の作品も展覧会に彩りを添えていました。

9月21日、22日 市民ホール

6年生児童が琵琶湖で生き物探し



琵琶湖には大きな貝がすんでいたよ 自然の湖に、たくさんのごみもあったよ

玉津小学校6年生48人が「びわこにざぶーん」と銘打ち、赤野井湾で生き物探し。教室で琵琶湖について学んだ児童は湖岸に移動し、網を手に赤野井湾につかって湖底の泥を探り、大きなイケチョウガイやドブガイなど琵琶湖にすむ貝を見つけました。心地よい自然に囲まれて活動できました。泥の中から出てきた、多数の缶やビニールなどのごみは回収しました。

9月19日 赤野井湾

もりやま“夢”プロジェクト 高校生英語スピーチコンテスト



10人の高校生がエントリー 3人の入賞者が姉妹都市カウアイ郡へ

市内在住の高校生10人がエントリーしました。建築家や助産師など、将来の夢や、それを思い描いたきっかけなどを英語でスピーチしました。英語力だけでなく、内容や熱意も審査の対象。審査の結果、船橋 桜愛さん、福留 小波さん、畑山 優理子さんが入賞を果たし、米ハワイ州カウアイ郡への切符を手に入れました。

9月23日 市民ホール

交通安全フェスタ



子ども免許証などで交通安全呼びかけ はたらく車がテーマの展示も

守山署や守山野洲安全運転管理者協会などが、交通安全を呼びかけるイベント。悪天候や遠方の災害発生などのアクシデントで参加車両が減る中、大勢の家族連れが参加しました。子どもたちは警察官の制服を着てパトカーに乗ったり、子ども免許証をもらったり、イベントを楽しみながら交通安全の呼びかけに笑顔で応えていました。

9月22日 ピエリ守山 駐車場

守山市の人口

令和6年9月30日現在
(前月比)

人口	85,871 (+ 61)
男	42,269 (+ 36)
女	43,602 (+ 25)
世帯数	35,362 (+ 55)

「ぶよぶよ」の懐かしのゲームでは、私の腕の話を聞く。ソフトボール、バレーボールと国スポリハ大会会場で撮影の仕事に仰せつかった時、熱戦を繰り広げる若きアスリートたちを間近に見て尊敬と憧れを覚え、休憩しながら自虐的に確認して口からでた言葉▼スポーツの秋というけれど、今や縁もなくなってしまう。夜空に浮かぶ、まん丸の月や、秋風になびく萩を愛でたり、絵画など芸術を鑑賞したり、秋の楽しみ方もすっかりインドア派となった▼軽く反省を試みるも、読書をしながらおいしい味覚を口に運び、秋の夜長に「ぶよぶよ」の感触が心地よかったりする。とりあえず、反省をすべに忘れてしまっのも、秋の空と同じ「女心」ということにおこころ。



「ぶよぶよ」の懐かしのゲームでは、私の腕の話を聞く。